

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
A06402	A 基本事項	(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成	①学習の在り方	今までに学習した科目の内容について、科目間のつながりを意識して、総合的な理解ができる（知識・態度）。			総合演習Ⅱ	2年	通期
A05400	A 基本事項	(4) 多職種連携協働とチーム医療		3. チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。	○	○	地域連携論演習	2年	通期
B03901	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	①地域における薬局の役割	地域の人口統計的特長について討議する。			地域連携論演習	2年	通期
B03902	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	①地域における薬局の役割	地域の地理や交通について討議する。			地域連携論演習	2年	通期
B03903	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	①地域における薬局の役割	地域の保健・医療・福祉に関するリソースについて討議する。			地域連携論演習	2年	通期
B03904	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	①地域における薬局の役割	地域における保健・医療・福祉のサービスとそのアクセスについて討議する。			地域連携論演習	2年	通期
B03905	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	①地域における薬局の役割	地域総合計画など行政指針について討議する。			地域連携論演習	2年	通期
B04800	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	②地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師	4. 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。			地域連携論演習	2年	通期
B04900	B 薬学と社会	(4) 地域における薬局と薬剤師	②地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師	5. 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。（知識・態度）			地域連携論演習	2年	通期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			地域連携論演習	2年	通期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			地域連携論演習	2年	通期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			地域連携論演習	2年	通期
C07900	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分析法	① 分光分析法	3. 赤外吸収（IR）スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
C08300	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分析法	②核磁気共鳴（NMR）スペクトル	1. 核磁気共鳴（NMR）スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
C08400	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分析法	③質量分析法	1. 質量分析法の原理および応用例を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
C05700	C2 化学物質の分析	(1) 分析の基礎	①分析の基本	1. 分析に用いる器具を正しく使用できる。（知識・技能）			化学系実習	2年	春学期
C05800	C2 化学物質の分析	(1) 分析の基礎	①分析の基本	2. 測定値を適切に取り扱うことができる。（知識・技能）	○		化学系実習	2年	春学期
C09300	C2 化学物質の分析	(5) 分離分析法	①クロマトグラ	5. クロマトグラフィーを用いて試料を定性・定量できる。（知識・技能）			化学系実習	2年	春学期
C14600	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	①核磁気共鳴（NMR）	1. 1H および13C NMR スペクトルより得られる情報を概説できる。			化学系実習	2年	春学期
C14700	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	①核磁気共鳴（NMR）	2. 有機化合物中の代表的プロトンについて、おおよその化学シフト値を示すことができる。			化学系実習	2年	春学期
C14800	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	①核磁気共鳴（NMR）	3. 1H NMR の積分値の意味を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
C14900	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	①核磁気共鳴（NMR）	4. 1H NMR シグナルが近接プロトンにより分裂（カップリング）する基本的な分裂様式を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
C15000	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	①核磁気共鳴（NMR）	5. 代表的な化合物の部分構造を1H NMR から決定できる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
C15100	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	②赤外吸収（IR）	1. IR スペクトルより得られる情報を概説できる。			化学系実習	2年	春学期
C15200	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	②赤外吸収（IR）	2. IR スペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。（知識・技能）			化学系実習	2年	春学期
C15300	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	③質量分析	1. マススペクトルより得られる情報を概説できる。			化学系実習	2年	春学期
C15400	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	③質量分析	2. 測定化合物に適したイオン化法を選択できる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
C15500	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	③質量分析	3. ピークの種類（基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク）を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
C15600	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	③質量分析	4. 代表的な化合物のマススペクトルを解析できる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
C15700	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	④総合演習	1. 代表的な機器分析法を用いて、代表的な化合物の構造決定ができる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
C20901	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	④生薬の同定と品質評価	代表的な生薬の確認試験を実施できる（技能）。			化学系実習	2年	春学期
C21800	C5 自然が生み出す薬物	(2) 薬の宝庫としての天然物	③天然生物活性物質の取扱い	1. 天然生物活性物質の代表的な抽出法、分離精製法を概説し、実施できる。（知識・技能）			化学系実習	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			化学系実習	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			化学系実習	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			化学系実習	2年	春学期
H08000	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(5) 薬学の基礎としての化学	④化学反応の基本操作	1. 化合物の秤量、溶解、抽出、乾燥、ろ過、濃縮を実施できる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
H08004	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(5) 薬学の基礎としての化学	④化学反応の基本操作	実験手順の意義を化学的な知識と関連付けて説明できる。			化学系実習	2年	春学期
H08005	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(5) 薬学の基礎としての化学	④化学反応の基本操作	手順書に従って実験をすることができる（技能）。			化学系実習	2年	春学期
H08006	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(5) 薬学の基礎としての化学	④化学反応の基本操作	官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
H08007	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(5) 薬学の基礎としての化学	④化学反応の基本操作	化合物の物理的性質を利用する基本的な精製法（ろ過、再結晶、蒸留、昇華など）を実施できる（技能）。			化学系実習	2年	春学期
H08010	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(5) 薬学の基礎としての化学	④化学反応の基本操作	実験・観察結果を論理立ててレポートとしてまとめることができる。（技能）	◎	◎	化学系実習	2年	春学期
J08900	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例	C3 化学物質の性質と反応	⑭総合演習	2. 基本的な医薬品を合成できる。（技能）			化学系実習	2年	春学期
J09000	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例	C3 化学物質の性質と反応	⑭総合演習	3. 反応廃液を適切に処理する。（技能・態度）			化学系実習	2年	春学期
D04100	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	①化学物質の毒性	2. 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す代表的な化学物質を列挙できる。			環境衛生学	2年	春学期
D04200	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	①化学物質の毒性	3. 重金属、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質や農薬の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D04300	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	①化学物質の毒性	4. 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D04500	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	①化学物質の毒性	6. 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D04600	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	①化学物質の毒性	7. 代表的な中毒原因物質（乱用薬物を含む）の試験法を列挙し、概説できる。			環境衛生学	2年	春学期
D04700	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	②化学物質の安全性評価と適正使用	1. 個々の化学物質の使用目的に鑑み、適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。（態度）			環境衛生学	2年	春学期
D04800	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	②化学物質の安全性評価と適正使用	2. 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。			環境衛生学	2年	春学期
D04900	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	②化学物質の安全性評価と適正使用	3. 毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量（NOAEL）などについて概説できる。			環境衛生学	2年	春学期
D05000	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	②化学物質の安全性評価と適正使用	4. 化学物質の安全摂取量（1日許容摂取量など）について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D05100	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	②化学物質の安全性評価と適正使用	5. 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制（化審法、化管法など）を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D05900	D2 環境	(2) 生活環境と健康	①地球環境と生態系	1. 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06000	D2 環境	(2) 生活環境と健康	①地球環境と生態系	2. 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06100	D2 環境	(2) 生活環境と健康	①地球環境と生態系	3. 化学物質の環境内動態（生物濃縮など）について例を挙げて説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06200	D2 環境	(2) 生活環境と健康	①地球環境と生態系	4. 地球環境の保全に関する国際的な取り組みについて説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06300	D2 環境	(2) 生活環境と健康	①地球環境と生態系	5. 人が生態系の一員であることをふまえて環境問題を討議する。（態度）			環境衛生学	2年	春学期
D06400	D2 環境	(2) 生活環境と健康	②環境保全と法的規制	1. 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06401	D2 環境	(2) 生活環境と健康	②環境保全と法的規制	PM2.5や黄砂など海外から影響する大気汚染物質について概説できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06500	D2 環境	(2) 生活環境と健康	②環境保全と法的規制	2. 環境基本法の理念を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06600	D2 環境	(2) 生活環境と健康	②環境保全と法的規制	3. 環境汚染（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など）を防止するための法規制について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06700	D2 環境	(2) 生活環境と健康	③水環境	1. 原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06800	D2 環境	(2) 生活環境と健康	③水環境	2. 水の浄化法、塩素処理について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D06900	D2 環境	(2) 生活環境と健康	③水環境	3. 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。（知識・技能）			環境衛生学	2年	春学期
D07000	D2 環境	(2) 生活環境と健康	③水環境	4. 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D07100	D2 環境	(2) 生活環境と健康	③水環境	5. 水質汚濁の主な指標を列挙し、測定できる。（知識・技能）			環境衛生学	2年	春学期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
D07200	D2 環境	(2) 生活環境と健康	③水環境	6. 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明でき			環境衛生学	2年	春学期
D07300	D2 環境	(2) 生活環境と健康	④大気環境	1. 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源、健康影響について説明でき	○		環境衛生学	2年	春学期
D07400	D2 環境	(2) 生活環境と健康	④大気環境	2. 主な大気汚染物質を測定できる。（技能）			環境衛生学	2年	春学期
D07500	D2 環境	(2) 生活環境と健康	④大気環境	3. 大気汚染に影響する気象要因（逆転層など）を概説できる。			環境衛生学	2年	春学期
D07600	D2 環境	(2) 生活環境と健康	⑤室内環境	1. 室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。（知識・技			環境衛生学	2年	春学期
D07700	D2 環境	(2) 生活環境と健康	⑤室内環境	2. 室内環境と健康との関係について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D07800	D2 環境	(2) 生活環境と健康	⑥廃棄物	1. 廃棄物の種類と処理方法を列挙できる。			環境衛生学	2年	春学期
D07900	D2 環境	(2) 生活環境と健康	⑥廃棄物	2. 廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
D08000	D2 環境	(2) 生活環境と健康	⑥廃棄物	3. マニフェスト制度について説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			環境衛生学	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			環境衛生学	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			環境衛生学	2年	春学期
D03000	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	1. 炭水化物・タンパク質が変質する機構について説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
D03100	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	2. 油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。（知識・技能）			食品衛生学	2年	春学期
D03200	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	3. 食品の変質を防ぐ方法（保存法）を説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
D03300	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	4. 食品成分由来の発がん性物質を列挙し、その生成機構を説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
D03400	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	5. 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
D03500	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	6. 特別用途食品と保健機能食品について説明できる。	○		食品衛生学	2年	春学期
D03600	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	7. 食品衛生に関する法的規制について説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
D03604	D1 健康	(3) 栄養と健康	②食品機能と食品衛	7. 食品の表示を正しく読み取り、食品表示法について概説できる。	◎		食品衛生学	2年	春学期
D03700	D1 健康	(3) 栄養と健康	③食中毒と食品汚染	1. 代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性 質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。	○		食品衛生学	2年	春学期
D03800	D1 健康	(3) 栄養と健康	③食中毒と食品汚染	2. 食中毒の原因となる代表的な自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状 の特徴を説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
D03900	D1 健康	(3) 栄養と健康	③食中毒と食品汚染	3. 化学物質（重金属、残留農薬など）やカビによる食品汚染の具体例を挙げ、ヒ トの健康に及ぼす影響を説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			食品衛生学	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			食品衛生学	2年	春学期
J17200	薬学アドバンスト教 育ガイドライン（例 示）	D1 健康	①食品機能と食品衛 生〔関連コアカリ： （3）②〕	1. 食品の褐変を引き起こす主な反応とその機構を説明できる。			食品衛生学	2年	春学期
C17100	C4 生体分子・医薬 品の化学による理解	(2) 生体反応の化学 による理解	②酵素阻害剤と作用 様式	1. 不可逆的酵素阻害薬の作用を酵素の反応機構に基づいて説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C17200	C4 生体分子・医薬 品の化学による理解	(2) 生体反応の化学 による理解	②酵素阻害剤と作用 様式	2. 基質アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明でき る。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C17300	C4 生体分子・医薬 品の化学による理解	(2) 生体反応の化学 による理解	②酵素阻害剤と作用 様式	3. 遷移状態アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明でき る。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C22900	C6 生命現象の基礎	(2) 生命現象を担う 分子	③アミノ酸	1. アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。	○		生理化学Ⅱ	2年	春学期
C23000	C6 生命現象の基礎	(2) 生命現象を担う 分子	④タンパク質	1. タンパク質の構造（一次、二次、三次、四次構造）と性質を説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C23800	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担う タンパク質	③酵素	1. 酵素反応の特性と反応速度論を説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C23900	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担う タンパク質	③酵素	2. 酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C24000	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担う タンパク質	③酵素	3. 代表的な酵素活性調節機構を説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C26600	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギー と生命活動を支える 代謝系	④飢餓状態と飽食状 態	1. 飢餓状態のエネルギー代謝（ケトン体の利用など）について説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C26700	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギー と生命活動を支える 代謝系	④飢餓状態と飽食状 態	2. 余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C26800	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギー と生命活動を支える 代謝系	⑤その他の代謝系	1. アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝（尿素回路など）について説明でき る。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			生理化学Ⅱ	2年	春学期
C21600	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	②微生物由来の生物 活性物質の構造と作	1. 微生物由来の生物活性物質を化学構造に基づいて分類できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C34500	C8 生体防御と微生 物	(3) 微生物の基本	① 総論	1. 原核生物、真核生物およびウイルスの特徴を説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C34600	C8 生体防御と微生 物	(3) 微生物の基本	② 細菌	1. 細菌の分類や性質（系統学的分類、グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性 菌など）を説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C34700	C8 生体防御と微生 物	(3) 微生物の基本	② 細菌	2. 細菌の構造と増殖機構について説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C34800	C8 生体防御と微生 物	(3) 微生物の基本	② 細菌	3. 細菌の異化作用（呼吸と発酵）および同化作用について説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C34900	C8 生体防御と微生 物	(3) 微生物の基本	② 細菌	4. 細菌の遺伝子伝達（接合、形質導入、形質転換）について説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C35100	C8 生体防御と微生 物	(3) 微生物の基本	② 細菌	6. 代表的な細菌毒素について説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36000	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	①感染の成立と共生	1. 感染の成立（感染源、感染経路、侵入門戸など）と共生（腸内細菌など）につ いて説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36100	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	①感染の成立と共生	2. 日和見感染と院内感染について説明できる。		○	微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36400	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	3. グラム陽性球菌（ブドウ球菌、レンサ球菌など）およびグラム陽性桿菌（破傷 風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌、セレウス菌、ディ フィシル菌など）について概説できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36500	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	4. グラム陰性球菌（淋菌、髄膜炎菌など）およびグラム陰性桿菌（大腸菌、赤痢 菌、サルモネラ属菌、チフス菌、エルシニア属菌、クレブシエラ属菌、コレラ 菌、百日咳菌、腸炎ピブリオ、緑膿菌、レジオネラ、インフルエンザ菌など）に			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36600	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	5. グラム陰性らせん菌（ヘリコバクター・ピロリ、カンピロバクター・ジェジュ ニ／コリなど）およびスピロヘータについて概説できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36700	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	6. 抗酸菌（結核菌、らい菌など）について概説できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C36800	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	7. マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて概説できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			微生物学Ⅰ	2年	春学期
C21700	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	②微生物由来の生物 活性物質の構造と作	2. 微生物由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。			微生物学Ⅱ	2年	春学期
C05900	C2 化学物質の分析	(1) 分析の基礎	①分析の基本	3. 分析法のバリデーションについて説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C07600	C2 化学物質の分析	(3) 化学物質の定性 分析・定量分析	②定量分析（容量分 析・重量分析）	7. 日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C07700	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分 析法	① 分光分析法	1. 紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。	○	○	分析科学Ⅱ	2年	春学期
C07800	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分 析法	① 分光分析法	2. 蛍光光度法の原理および応用例を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C08000	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分 析法	① 分光分析法	4. 原子吸光光度法、誘導結合プラズマ（ICP）発光分光分析法およびICP 質量分 析法の原理および応用例を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C08100	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分 析法	① 分光分析法	5. 旋光度測定法（旋光分散）の原理および応用例を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C08200	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分 析法	① 分光分析法	6. 分光分析法を用いて、日本薬局方収載の代表的な医薬品の分析を実施できる。 （技能）			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C08900	C2 化学物質の分析	(5) 分離分析法	① クロマトグラ	1. クロマトグラフィーの分離機構を説明できる。	○		分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09000	C2 化学物質の分析	(5) 分離分析法	① クロマトグラ	2. 薄層クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09100	C2 化学物質の分析	(5) 分離分析法	① クロマトグラ	3. 液体クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
C09200	C2 化学物質の分析	(5) 分離分析法	① クロマトグラ	4. ガスクロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09400	C2 化学物質の分析	(5) 分離分析法	②電気泳動法	1. 電気泳動法の原理および応用例を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09500	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	① 分析の準備	1. 分析目的に即した試料の前処理法を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09600	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	① 分析の準備	2. 臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09700	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	②分析技術	1. 臨床分析で用いられる代表的な分析法を列挙できる。	◎	○	分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09800	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	②分析技術	2. 免疫化学的測定法の原理を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C09900	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	②分析技術	3. 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明できる。	○		分析科学Ⅱ	2年	春学期
C10000	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	②分析技術	4. 代表的なドライケミストリーについて概説できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C10100	C2 化学物質の分析	(6) 臨床現場で用いる分析技術	②分析技術	5. 代表的な画像診断技術（X線検査、MRI、超音波、内視鏡検査、核医学検査など）について概説できる。		○	分析科学Ⅱ	2年	春学期
C16100	C3 化学物質の性質と反応	(5) 無機化合物・錯体の構造と性質	①無機化合物・錯体	4. 代表的な錯体の名称、構造、基本的な性質を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
E01300	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	③日本薬局方	1. 日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
H06400	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(4) 薬学の基礎としての物理	⑧量子化学入門	2. 光の粒子性と波動性について概説できる。			分析科学Ⅱ	2年	春学期
C30900	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	①神経による調節機構	1. 神経細胞の興奮と伝導、シナプス伝達の調節機構について説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
C31000	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	①神経による調節機構	2. 代表的な神経伝達物質を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。			薬理学序論	2年	春学期
C31100	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	①神経による調節機構	3. 神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。			薬理学序論	2年	春学期
C31200	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	①神経による調節機構	4. 神経による筋収縮の調節機構について説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
C31400	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	③オータコイドによる調節機構	1. 代表的なオータコイドを挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。			薬理学序論	2年	春学期
C31401	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	オータコイド系が作用する器官機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E00100	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	1. 薬の用量と作用の関係を説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E00200	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	2. アゴニスト（作用薬、作動薬、刺激薬）とアンタゴニスト（拮抗薬、遮断薬）について説明できる。		○	薬理学序論	2年	春学期
E00300	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	3. 薬物が作用するしくみについて、受容体、酵素、イオンチャネルおよびトランスポーターを例に挙げて説明できる。		○	薬理学序論	2年	春学期
E00400	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	4. 代表的な受容体を列挙し、刺激あるいは遮断された場合の生理反応を説明できる。		○	薬理学序論	2年	春学期
E00500	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	5. 薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し、活性化あるいは抑制された場合の生理反応を説明できる。（C6(6)【②細胞内情報伝達】1.～5. 神経伝達物質が作用する器官機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E00501	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	神経伝達物質が作用する器官機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E02500	E1 薬の作用と体の変化	(4) 医薬品の安全性		1. 薬物の主作用と副作用、毒性との関連について説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E02600	E1 薬の作用と体の変化	(4) 医薬品の安全性		2. 薬物の副作用と有害事象の違いについて説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E02900	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	①自律神経系に作用する薬	1. 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。		○	薬理学序論	2年	春学期
E02901	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①自律神経系に作用する薬	交感神経系と副交感神経系による器官の拮抗的二重支配を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E03000	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	①自律神経系に作用する薬	2. 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。		○	薬理学序論	2年	春学期
E03100	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	①自律神経系に作用する薬	3. 神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E03300	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	②体性神経系に作用する薬・筋の疾患の薬、病態、治療	1. 知覚神経に作用する代表的な薬物（局所麻酔薬など）を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E03301	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	知覚神経の活動電位とイオンの流れの関係を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E03400	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	②体性神経系に作用する薬・筋の疾患の薬、病態、治療	2. 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E04700	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	11. 片頭痛について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）について説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E05200	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	①抗炎症薬	1. 抗炎症薬（ステロイド性および非ステロイド性）および解熱性鎮痛薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。	○	◎	薬理学序論	2年	春学期
E05300	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	①抗炎症薬	2. 抗炎症薬の作用機序に基づいて炎症について説明できる。	○	◎	薬理学序論	2年	春学期
E05400	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	①抗炎症薬	3. 創傷治癒の過程について説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E05500	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療	1. アレルギー治療薬（抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬等）の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E05700	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療	3. 以下のアレルギー疾患について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎	○	○	薬理学序論	2年	春学期
E05900	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療	5. アナフィラキシショックについて、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
E17701	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		かゆみ、アレルギーに用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎	○	薬理学序論	2年	春学期
E17703	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		発熱、痛み、かゆみに用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎	○	薬理学序論	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			薬理学序論	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			薬理学序論	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			薬理学序論	2年	春学期
J16401	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	②オータコイドによる調節機構〔関連コアカリ：(2)③〕	代表的なオータコイドの生合成経路、および分泌調節機構を概説できる。			薬理学序論	2年	春学期
J16501	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	③神経伝達物質〔関連コアカリ：(2)①〕	代表的な神経伝達物質の生合成経路、分泌調節機構、および分解経路を概説できる。			薬理学序論	2年	春学期
C10300	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	2. 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C10303	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	医薬品の名称（例えば、カテコールアミン）と有機化合物の慣用名（カテコール）の関係を概説できる。（知識）	○	○	有機化学Ⅰ	2年	春学期
C10304	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	アドレナリン、フルアドレナリン、ドパミン、セロトニン、ヒスタミン、アセチルコリン、グルタミン酸、GABAといった神経伝達物質の構造式が書ける。（技）			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13400	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	②有機ハロゲン化合物	1. 有機ハロゲン化合物の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13500	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	②有機ハロゲン化合物	2. 求核置換反応の特徴について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13501	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	②有機ハロゲン化合物	医薬品の作用機序に求核置換反応が関与している例を列挙できる（知識）			有機化学Ⅰ	2年	春学期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
C13600	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	②有機ハロゲン化合物	3. 脱離反応の特徴について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13700	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	③アルコール・フェノール・エーテル	1. アルコール、フェノール類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。	○		有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13701	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	③アルコール・フェノール・エーテル	構造上の特性から、フェノールやチオールが活性酸素を除去できる理由について説明できる(知識)			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13800	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	③アルコール・フェノール・エーテル	2. エーテル類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C13900	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体	1. アルデヒド類およびケトン類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。	○		有機化学Ⅰ	2年	春学期
C14300	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	⑥電子効果	1. 官能基が及ぼす電子効果について概説できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
C14400	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	⑦酸性度・塩基性	1. アルコール、フェノール、カルボン酸、炭素酸などの酸性度を比較して説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
J06900	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	C3 化学物質の性質と反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：(5) ①〕	3. 有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
J07000	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	C3 化学物質の性質と反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：(5) ①〕	4. アルコールの代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
J07100	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	C3 化学物質の性質と反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：(5) ①〕	5. フェノールの代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
J07200	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	C3 化学物質の性質と反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：(5) ①〕	6. エーテルの代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
J07300	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	C3 化学物質の性質と反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：(5) ①〕	7. アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅰ	2年	春学期
D04000	D2 環境	(1) 化学物質・放射線の生体への影響	①化学物質の毒性	1. 代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E00601	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	6. 薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)と薬効発現の関わりについて概説できる。	○	◎	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E17700	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		5. 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25000	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	①生体膜透過	1. 薬物の生体膜透過における単純拡散、促進拡散および能動輸送の特徴を説明で			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25100	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	①生体膜透過	2. 薬物の吸収に関わるトランスポーターの例を挙げ、その特徴と薬物動態における役割を説明できる。			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25200	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	②吸収	1. 経口投与された薬物の吸収について説明できる。	○	○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25300	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	②吸収	2. 非経口的に投与される薬物の吸収について説明できる。	○	○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25400	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	②吸収	3. 薬物の吸収に影響する因子(薬物の物性、生理学的要因など)を列挙し、説明	○	○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25600	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	②吸収	5. 初回通過効果について説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25700	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	③分布	1. 薬物が結合する代表的な血漿タンパク質を挙げ、タンパク結合の強い薬物を列挙できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25800	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	③分布	2. 薬物の組織移行性(分布容積)と血漿タンパク結合ならびに組織結合との関係を、定量的に説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E25900	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	③分布	3. 薬物のタンパク結合および結合阻害の測定・解析方法を説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26000	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	③分布	4. 血液－組織間門の構造・機能と、薬物の脳や胎児等への移行について説明でき	○	○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26100	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	③分布	5. 薬物のリンパおよび乳汁中への移行について説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26300	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	④代謝	1. 代表的な薬物代謝酵素を列挙し、その代謝反応が起こる組織ならびに細胞内小器官、反応様式について説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26400	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	④代謝	2. 薬物代謝の第Ⅰ相反応(酸化・還元・加水分解)、第Ⅱ相反応(抱合)について、例を挙げて説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26500	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	④代謝	3. 代表的な薬物代謝酵素(分子種)により代謝される薬物を列挙できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26600	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	④代謝	4. プロドラッグと活性代謝物について、例を挙げて説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26700	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	④代謝	5. 薬物代謝酵素の阻害および誘導のメカニズムと、それらに関連して起こる相互作用について、例を挙げ、説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26800	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	⑤排泄	1. 薬物の尿中排泄機構について説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E26900	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	⑤排泄	2. 腎クリアランスと、糸球体ろ過、分泌、再吸収の関係を定量的に説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E27000	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	⑤排泄	3. 代表的な腎排泄型薬物を列挙できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E27100	E4 薬の生体内運命	(1) 薬物の体内動態	⑤排泄	4. 薬物の胆汁中排泄と腸肝循環について説明できる。		○	医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			医療薬理学Ⅰ	2年	秋学期
C07900	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分析法	①分光分析法	3. 赤外吸収(IR)スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C08300	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分析法	②核磁気共鳴(NMR)スペクトル	1. 核磁気共鳴(NMR)スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C08400	C2 化学物質の分析	(4) 機器を用いる分析法	③質量分析法	1. 質量分析法の原理および応用例を説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C10301	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	構造に関する接頭用語(デキストロ、レボ、ノルなど)を列挙できる。			化学系演習	2年	秋学期
C10302	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	医薬品に含まれる骨格と名称を示すことができる。	○		化学系演習	2年	秋学期
C10702	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	有機化学反応における、置換、付加、脱離反応を例を挙げて説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C10705	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	①基本事項	与えられた反応式を完成することができる。			化学系演習	2年	秋学期
C11101	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	②有機化合物の立体構造	有機化合物の異性体の種類を例を挙げて説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C11201	C3 化学物質の性質と反応	(1) 化学物質の基本的性質	②有機化合物の立体構造	構造式中の不斉炭素とキラリティーの関係について説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C12301	C3 化学物質の性質と反応	(2) 有機化合物の基本骨格の構造と反応	①アルカン	化合物の持つわずみを構造式から予測し、配座間の安定性を説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C13502	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	②有機ハロゲン化合物	求核的および求電子的な反応を例を挙げて説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C14301	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	⑥電子効果	誘起効果と共鳴効果が有機化合物に与える影響を説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C14402	C3 化学物質の性質と反応	(3) 官能基の性質と反応	⑦酸性度・塩基性	酸性度と塩基性度の強弱を、化合物の構造から比較、説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
C15701	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	④総合演習	各種スペクトル(NMR, IR, MS)のチャートから、構造式の部分あるいは全体の構造を推定できる。			化学系演習	2年	秋学期
C15702	C3 化学物質の性質と反応	(4) 化学物質の構造決定	④総合演習	各種スペクトル(NMR, IR, MS)の構造解析への利用法を概説できる。			化学系演習	2年	秋学期
C17903	C3 化学物質の性質と反応	(3) 医薬品の化学構造と性質、作用	②医薬品の化学構造に基づく性質	構造式から、医薬品がもつ化学的な性質を列挙できる。	○		化学系演習	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			化学系演習	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			化学系演習	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			化学系演習	2年	秋学期
C16900	C4 生体分子・医薬品の化学による理解	(2) 生体反応の化学による理解	①生体内で機能するリン、硫黄化合物	1. リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の構造と化学的性質を説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C17000	C4 生体分子・医薬品の化学による理解	(2) 生体反応の化学による理解	①生体内で機能するリン、硫黄化合物	2. リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C22300	C6 生命現象の基礎	(1) 細胞の構造と機	①細胞膜	2. エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
C23500	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担うタンパク質	① タンパク質の構造と機能	1. 多彩な機能をもつタンパク質（酵素、受容体、シグナル分子、膜輸送体、運搬・輸送タンパク質、貯蔵タンパク質、構造タンパク質、接着タンパク質、防御タンパク質、調節タンパク質）を列挙し概説できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C23600	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担うタンパク質	②タンパク質の成熟と分解	1. タンパク質の翻訳後の成熟過程（細胞小器官間の輸送や翻訳後修飾）について説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C23700	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担うタンパク質	②タンパク質の成熟と分解	2. タンパク質の細胞内での分解について説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C24200	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担うタンパク質	④酵素以外のタンパク質	1. 膜輸送体の種類、構造、機能を説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27100	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	① 概論	1. 細胞間コミュニケーションにおける情報伝達様式を説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27200	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	②細胞内情報伝達	1. 細胞膜チャネル内蔵型受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27300	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	②細胞内情報伝達	2. 細胞膜受容体からG タンパク系を介する細胞内情報伝達について説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27400	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	②細胞内情報伝達	3. 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27500	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	②細胞内情報伝達	4. 細胞内情報伝達におけるセカンドメッセンジャーについて説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27600	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	②細胞内情報伝達	5. 細胞内（核内）受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27700	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	③細胞間コミュニケーション	1. 細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C27800	C6 生命現象の基礎	(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達	③細胞間コミュニケーション	2. 主な細胞外マトリックス分子の種類と特徴を説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			細胞生理学	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			細胞生理学	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			細胞生理学	2年	秋学期
J15801	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	⑩脂質代謝〔関連コアカリ：（5）③〕	リン脂質の生合成および代謝経路を細胞内情報伝達系との関連性から概説できる。			細胞生理学	2年	秋学期
C23801	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担うタンパク質	③酵素	酵素反応における酵素と基質、阻害剤の関係を概説できる（知識・技能）。			生物系演習	2年	秋学期
C25802	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系	① 概論	経口摂取した代表的な食品成分の生体内での消長を概説できる。			生物系演習	2年	秋学期
C25803	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系	① 概論	経口摂取した栄養素の出納について説明できる。			生物系演習	2年	秋学期
C25901	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系	②ATP の産生と糖質代謝	糖代謝に基づく代謝性アシドーシスと生体緩衝系について概説できる。			生物系演習	2年	秋学期
C26581	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系	③脂質代謝	3. 炎症性メディエーターの産生、およびアラキドン酸カスケードにおける代謝物産生のメカニズムや生体への影響について説明できる。			生物系演習	2年	秋学期
C26601	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系	④飢餓状態と飽食状態	身体活動レベルの違いにおける生体内のエネルギー代謝について分子レベルで図式化できる（技能）。			生物系演習	2年	秋学期
C26601	C6 生命現象の基礎	(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系	④飢餓状態と飽食状態	対象者の状態に応じた糖代謝および脂質代謝が概説できる。			生物系演習	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			生物系演習	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			生物系演習	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			生物系演習	2年	秋学期
C23400	C6 生命現象の基礎	(2) 生命現象を担う分子	⑧生体分子の定性、定量	1. 脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、もしくは核酸の定性または定量試験を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
C24100	C6 生命現象の基礎	(3) 生命活動を担うタンパク質	③酵素	4. 酵素反応速度を測定し、解析できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
C34400	C8 生体防御と微生物	(2) 免疫系の制御とその破綻・免疫系の	② 免疫反応の利用	4. 抗原抗体反応を利用した検査方法（ELISA 法、ウェスタンブロット法など）を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
C35700	C8 生体防御と微生物	(3) 微生物の基本	⑥ 検出方法	1. グラム染色を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
C35800	C8 生体防御と微生物	(3) 微生物の基本	⑥ 検出方法	2. 無菌操作を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
C35900	C8 生体防御と微生物	(3) 微生物の基本	⑥ 検出方法	3. 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			生物系実習	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			生物系実習	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			生物系実習	2年	秋学期
J04300	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C2 化学物質の分析	⑨電気泳動法〔関連コアカリ：（5）②〕	1. 電気泳動法を用いて試料を分離分析できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
J12300	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	②ヌクレオチドと核酸〔関連コアカリ：（2）⑤〕	1. DNA を抽出できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
J12700	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	③生体分子の定性、定量〔関連コアカリ：（2）⑧〕	4. タンパク質の定性および定量試験を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
J12800	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	③生体分子の定性、定量〔関連コアカリ：（2）⑧〕	5. 核酸の定性および定量試験を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
J12900	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	④タンパク質の構造と機能〔関連コアカリ：（3）①〕	1. タンパク質の分離、精製と分子量の測定法を説明し、実施できる。（知識・技能）			生物系実習	2年	秋学期
J14300	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	⑧組換えDNA〔関連コアカリ：（4）⑥〕	2. PCR 法による遺伝子増幅の原理を説明し、実施できる。（知識・技能）			生物系実習	2年	秋学期
J14400	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	⑧組換えDNA〔関連コアカリ：（4）⑥〕	3. PCR を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
J14500	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	⑧組換えDNA〔関連コアカリ：（4）⑥〕	4. RNA の逆転写と逆転写酵素について説明できる。			生物系実習	2年	秋学期
J14700	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C6 生命現象の基礎	⑧組換えDNA〔関連コアカリ：（4）⑥〕	6. コンピューターを用いて特徴的な塩基配列を検索できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
J16800	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C8 生体防御と微生物	④消毒と滅菌〔関連コアカリ：（3）⑤〕	1. 主な滅菌法を実施できる。（技能）			生物系実習	2年	秋学期
C19900	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	①薬用植物	1. 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを挙げることができる。	○		生薬学	2年	秋学期
C20000	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	①薬用植物	2. 代表的な薬用植物を外部形態から説明し、区別できる。（知識、技能）			生薬学	2年	秋学期
C20100	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	①薬用植物	3. 植物の主な内部形態について説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C20200	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	①薬用植物	4. 法律によって取り扱いが規制されている植物（ケシ、アサ）の特徴を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C20300	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	②生薬の基原	1. 日本薬局方収載の代表的な生薬（植物、動物、藻類、菌類由来）を列挙し、その基原、薬用部位を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C20400	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	③生薬の用途	1. 日本薬局方収載の代表的な生薬（植物、動物、藻類、菌類、鉱物由来）の薬効、成分、用途などを説明できる。	◎		生薬学	2年	秋学期
C20500	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	③生薬の用途	2. 副作用や使用上の注意が必要な代表的な生薬を列挙し、説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C20600	C5 自然が生み出す薬物	(1) 薬になる動植物	④生薬の同定と品質評価	1. 生薬の同定と品質評価法について概説できる。			生薬学	2年	秋学期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
C20700	C5 自然が生み出す 薬物	(1) 薬になる動植物 物	④生薬の同定と品質 評価	2. 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C20800	C5 自然が生み出す 薬物	(1) 薬になる動植物 物	④生薬の同定と品質 評価	3. 代表的な生薬を鑑別できる。（技能）	○		生薬学	2年	秋学期
C20900	C5 自然が生み出す 薬物	(1) 薬になる動植物 物	④生薬の同定と品質 評価	4. 代表的な生薬の確認試験を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C21000	C5 自然が生み出す 薬物	(1) 薬になる動植物 物	④生薬の同定と品質 評価	5. 代表的な生薬の純度試験を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C21100	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	①生薬由来の生物活 性物質の構造と作用	1. 生薬由来の代表的な生物活性物質を化学構造に基づいて分類し、それらの生合 成経路を概説できる。			生薬学	2年	秋学期
C21200	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	①生薬由来の生物活 性物質の構造と作用	2. 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用 を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C21300	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	①生薬由来の生物活 性物質の構造と作用	3. 芳香族化合物に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作 用を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C21400	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	①生薬由来の生物活 性物質の構造と作用	4. テルペノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列 挙し、その作用を説明できる。		○	生薬学	2年	秋学期
C21500	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	①生薬由来の生物活 性物質の構造と作用	5. アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作 用を説明できる。		○	生薬学	2年	秋学期
C21900	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	④天然生物活性物質 の利用	1. 医薬品として使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説 明できる。			生薬学	2年	秋学期
C22000	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	④天然生物活性物質 の利用	2. 天然生物活性物質を基に化学修飾等により開発された代表的な医薬品を列挙 し、その用途、リード化合物を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
C22100	C5 自然が生み出す 薬物	(2) 薬の宝庫として の天然物	④天然生物活性物質 の利用	3. 農薬や化粧品などとして使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、そ の用途を説明できる。	○		生薬学	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			生薬学	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			生薬学	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			生薬学	2年	秋学期
C34100	C8 生体防御と微生 物	(2) 免疫系の制御と その破綻・免疫系の	② 免疫反応の利用	1. ワクチンの原理と種類（生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワク チンなど）について説明できる。		○	微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35000	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	② 細菌	5. 薬剤耐性菌および薬剤耐性化機構について概説できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35001	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	② 細菌	抗菌薬耐性菌の国際動向について、諸外国と日本の状況の違いについて概説でき			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35200	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	③ ウイルス	1. ウイルスの構造、分類、および増殖機構について説明できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35300	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	④ 真菌・原虫・蠕虫	1. 真菌の性状を概説できる。	○		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35400	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	④ 真菌・原虫・蠕虫	2. 原虫および蠕虫の性状を概説できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35500	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	⑤ 消毒と滅菌	1. 滅菌、消毒および殺菌、静菌の概念を説明できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C35600	C8 生体防御と微生	(3) 微生物の基本	⑤ 消毒と滅菌	2. 主な滅菌法および消毒法について説明できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C36200	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	1. DNA ウイルス（ヒトヘルペスウイルス、アデノウイルス、パピローマウイル ス、B 型肝炎ウイルスなど）について概説できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C36300	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	2. RNA ウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス、ポリオウイルス、コクサッキー ウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、A 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイル ス、インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、日本脳炎ウイル ス、狂犬病ウイルス、ハンパウイルス、HIV、HTLV など）について概説でき			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C36900	C8 生体防御と微生 物	(4) 病原体としての 微生物	②代表的な病原体	8. 真菌（アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル、白黴菌な ど）について概説できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C37000	D1 健康	(1) 社会・集団と健 康	②代表的な病原体	9. 原虫（マラリア原虫、トキソプラズマ、腔トリコモナス、クリプトスポリジウ ム、赤痢アメーバなど）、蠕虫（回虫、鞭虫、アニサキス、エキノコックスな ど）について概説できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E11900	E2 薬理・病態・薬物 治療	(6) 感覚器・皮膚の 疾患と薬	③皮膚疾患の薬、病 態、治療	2. 皮膚真菌症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および 病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 （E2（7）【⑤真菌感染症の薬、病態、治療】参照）	○		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E12300	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	①抗菌薬	1. 以下の抗菌薬の薬理（薬理作用、機序、抗菌スペクトル、主な副作用、相互作 用、組織移行性）および臨床適用を説明できる。 β-ラクタム系、テトラサイクリン系、マクロライド系、アミノ配糖体（アミノグ リコシド）系、キノロン系、グリコペプチド系、抗結核薬、サルファ剤（ST 合剤 を含む）、その他の抗菌薬	○	○	微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E12500	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	②抗菌薬の耐性	1. 主要な抗菌薬の耐性獲得機構および耐性菌出現への対応を説明できる。	○	○	微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E13400	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	③細菌感染症の薬、 病態、治療	9. 以下の薬剤耐性菌による院内感染について、感染経路と予防方法、病態（病態 生理、症状等）および薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 MRSA、VRE、セラチア、緑膿菌等			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E13500	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	③細菌感染症の薬、 病態、治療	10. 以下の全身性細菌感染症について、病態（病態生理、症状等）、感染経路と予 防方法および薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 ジフテリア、劇症型A 群β溶血性連鎖球菌感染症、新生児B 群連鎖球菌感染症、破 傷風、敗血症			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E13600	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	1. ヘルペスウイルス感染症（単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹）について、治療薬 の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、予防方法および病態（病態生理、症状 等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E13700	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	2. サイトメガロウイルス感染症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な 副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説 明できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E13800	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	3. インフルエンザについて、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、感 染経路と予防方法および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択 等）を説明できる。	○		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E13900	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	4. ウイルス性肝炎（HAV、HBV、HCV）について、治療薬の薬理（薬理作用、機 序、主な副作用）、感染経路と予防方法および病態（病態生理（急性肝炎、慢性 肝炎、肝硬変、肝細胞がん）、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明で		○	微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E14000	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	5. 後天性免疫不全症候群（AIDS）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主 な副作用）、感染経路と予防方法および病態（病態生理、症状等）・薬物治療 （医薬品の選択等）を説明できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E14001	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	HIV感染によるAIDS発症後、免疫力低下に伴う感染について、諸外国と日本との 感染原因微生物の違いについて概説できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E14100	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	④ウイルス感染症お よびプリオン病の 薬、病態、治療	6. 以下のウイルス感染症（プリオン病を含む）について、感染経路と予防方法お よび病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 伝染性紅斑（リンゴ病）、手足口病、伝染性単核球症、突発性発疹、咽頭結膜 熱、ウイルス性下痢症、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、風邪症候群、Creutzfeldt- Jakob（クロイツフェルト・ヤコブ）病	◎		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E14200	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	⑤真菌感染症の薬、 病態、治療	1. 抗真菌薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明でき る。	○		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E14400	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	⑥原虫・寄生虫感染 症の薬、病態、治療	1. 以下の原虫感染症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、 および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 マラリア、トキソプラズマ症、トリコモナス症、アメーバ赤痢			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E14500	E2 薬理・病態・薬物 治療	(7) 病原微生物（感 染症）・悪性新生物 （がん）と薬	⑥原虫・寄生虫感染 症の薬、病態、治療	2. 以下の寄生虫感染症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作 用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明で きる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
E17702	E2 薬理・病態・薬物 治療	(9) 要指導医薬品・ 一般用医薬品とセル フメディケーション		細菌・真菌感染症に用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・ 作用・副作用を列挙できる。	◎		微生物学Ⅱ	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎とし ての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			微生物学Ⅱ	2年	秋学期
C00400	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	1. ファンデルワールス力について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C00500	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	2. 静電相互作用について例を挙げて説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C00600	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	3. 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C00700	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	4. 分散力について例を挙げて説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C00800	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	5. 水素結合について例を挙げて説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C00900	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	6. 電荷移動相互作用について例を挙げて説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C01000	C1 物質の物理的性	(1) 物質の構造	② 分子間相互作用	7. 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C04100	C1 物質の物理的性 質	(2) 物質のエネル ギーと平衡	⑤相平衡	1. 相変化に伴う熱の移動について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C04200	C1 物質の物理的性 質	(2) 物質のエネル ギーと平衡	⑤相平衡	2. 相平衡と相律について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期

JIU新アカリ シラバス番号	新アカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
C04300	C1 物質の物理的性質	(2) 物質のエネルギーと平衡	⑤相平衡	3. 状態図について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C04400	C1 物質の物理的性質	(2) 物質のエネルギーと平衡	⑥溶液の性質	1. 希薄溶液の束一的性質について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C04500	C1 物質の物理的性質	(2) 物質のエネルギーと平衡	⑥溶液の性質	2. 活量と活量係数について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C04600	C1 物質の物理的性質	(2) 物質のエネルギーと平衡	⑥溶液の性質	3. 電解質溶液の電気伝導率およびモル伝導率の濃度による変化を説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C04700	C1 物質の物理的性質	(2) 物質のエネルギーと平衡	⑥溶液の性質	4. イオン強度について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C05000	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	1. 反応次数と速度定数について説明できる。		○	物理薬剤学	2年	秋学期
C05100	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	2. 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)			物理薬剤学	2年	秋学期
C05200	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	3. 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C05300	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	4. 代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C05400	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	5. 代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応など)の特徴について説明			物理薬剤学	2年	秋学期
C05500	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	6. 反応速度と温度との関係を説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
C05600	C1 物質の物理的性質	(3) 物質の変化	①反応速度	7. 代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応、酵素反応など)について説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			物理薬剤学	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			薬学外国書講読	2年	秋学期
H03900	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	2. 科学、医療に関して英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。			薬学外国書講読	2年	秋学期
H04000	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	1. 自己紹介文、手紙文などを英語で書くことができる。(知識・技能)			薬学外国書講読	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			薬学外国書講読	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			薬学外国書講読	2年	秋学期
H04300	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	4. 科学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。(知識・技能)			薬学外国書講読	2年	秋学期
H04700	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	③聞く・話す	4. 科学、医療に関連する代表的な用語を英語で発音できる。(技能)			薬学外国書講読	2年	秋学期
E02300	E1 薬の作用と体の変化	(3) 薬物治療の位置づけ		1. 代表的な疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療(外科手術など)の位置づけを説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04000	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	4. 統合失調症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04100	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	5. うつ病、躁うつ病(双極性障害)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04200	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	6. 不安神経症(パニック障害と全般性不安障害)、心身症、不眠症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04300	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	7. てんかんについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04500	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	9. Parkinson(パーキンソン)病について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		◎	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04600	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	10. 認知症(Alzheimer(アルツハイマー)型認知症、脳血管性認知症等)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		◎	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E04700	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	11. 片頭痛について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)について説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E05700	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療	3. 以下のアレルギー疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E06000	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療	5. アナフィラキシーショックについて、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E06000	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	②免疫・炎症・アレルギー疾患の薬、病態、治療	6. 以下の疾患について、病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 尋常性乾癬、水疱症、光線過敏症、ベーチェット病	○		薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E06500	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、病態、治療	2. 骨粗鬆症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E06600	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、病態、治療	3. 変形性関節症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E06700	E2 薬理・病態・薬物治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節の疾患と薬	③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、病態、治療	4. カルシウム代謝の異常を伴う疾患(副甲状腺機能亢進(低下)症、骨軟化症(くる病を含む)、悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E08500	E2 薬理・病態・薬物治療	(3) 循環器系・血液系・造糸器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬	③泌尿器系、生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療	6. 以下の生殖器系疾患について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 前立腺肥大症、子宮内腺症、子宮筋腫	○		薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E10700	E2 薬理・病態・薬物治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、病態、治療	2. Basedow(バセドウ)病について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E10800	E2 薬理・病態・薬物治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、病態、治療	3. 甲状腺炎(慢性(橋本病)、亜急性)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E10900	E2 薬理・病態・薬物治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、病態、治療	4. 尿崩症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E11200	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	①眼疾患の薬、病態、治療	1. 緑内障について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E11300	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	①眼疾患の薬、病態、治療	2. 白内障について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	○	○	薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E11400	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	①眼疾患の薬、病態、治療	3. 加齢性黄斑変性について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E11600	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	②耳鼻咽喉疾患の薬、病態、治療	1. めまい(動揺病、Meniere(メニエール)病等)について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。	○		薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E11800	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	③皮膚疾患の薬、病態、治療	1. アトピー性皮膚炎について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (E2(2))【②免疫・炎症・アレルギーの薬、病態、治療】参照	○		薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
E11900	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	③皮膚疾患の薬、病態、治療	2. 皮膚真菌症について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。 (E2(7))【⑤真菌感染症の薬、病態、治療】参照	○		薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			薬物治療学Ⅰ	2年	秋学期
C31300	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	②ホルモン・内分泌系による調節機構	1. 代表的なホルモンを挙げ、その産生器官、生理活性および作用機構について概説できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
C31801	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	⑦体液の調節	血漿カルシウムの調節機構について概説できる。	○		薬理学Ⅰ	2年	秋学期
C32000	C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	(2) 生体機能の調節	⑧体温の調節	1. 体温の調節機構について概説できる。	○		薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E00502	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	細胞内情報伝達系に作用する薬物の薬理作用について説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E00900	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	9. 薬物依存性、耐性について具体例を挙げて説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E03700	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	1. 全身麻酔薬、催眠薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E03800	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	2. 麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用(WHO 三段階除痛ラダーを含む)を説明できる。	○	◎	薬理学Ⅰ	2年	秋学期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
E03900	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	3. 中枢興奮薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。		○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04000	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	4. 統合失調症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。		○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04100	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	5. うつ病、躁うつ病（双極性障害）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。		○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04200	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	6. 不安神経症（パニック障害と全般性不安障害）、心身症、不眠症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。		○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04300	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	7. てんかんについて、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。		○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04500	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	9. Parkinson（パーキンソン）病について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。		◎	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04600	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	10. 認知症（Alzheimer（アルツハイマー）型認知症、脳血管性認知症等）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。		◎	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E04700	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	11. 片頭痛について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）について説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E05101	E2 薬理・病態・薬物 治療	(1) 神経系の疾患と 薬	③中枢神経系の疾患 の薬、病態、治療	精神神経用薬に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E06500	E2 薬理・病態・薬物 治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・ 関節の疾患と薬	③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、 病態、治療	2. 骨粗鬆症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E06600	E2 薬理・病態・薬物 治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・ 関節の疾患と薬	③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、 病態、治療	3. 変形性関節症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E06700	E2 薬理・病態・薬物 治療	(2) 免疫・炎症・アレルギーおよび骨・ 関節の疾患と薬	③骨・関節・カルシウム代謝疾患の薬、 病態、治療	4. カルシウム代謝の異常を伴う疾患（副甲状腺機能亢進（低下）症、骨軟化症（くる病を含む）、悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E08500	E2 薬理・病態・薬物 治療	(3) 循環器系・血液系・ 造血器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬	③泌尿器系、生殖器系疾患の薬、 病態、薬物治療	6. 以下の生殖器系疾患について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 前立腺肥大症、子宮内腫瘍、子宮筋腫	○		薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E08600	E2 薬理・病態・薬物 治療	(3) 循環器系・血液系・ 造血器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬	③泌尿器系、生殖器系疾患の薬、 病態、薬物治療	7. 妊娠・分娩・避妊に関連して用いられる薬物について、薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○		薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E10600	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	1. 性ホルモン関連薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）および臨床適用を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E10700	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	2. Basedow（バセドウ）病について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E10800	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	3. 甲状腺炎（慢性（橋本病）、亜急性）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E10801	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	甲状腺ホルモンが作用する器官機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E10802	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	視床下部・脳下垂体ホルモンが作用する器官機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E10900	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	4. 尿崩症について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E11001	E2 薬理・病態・薬物 治療	(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬	②内分泌系疾患の薬、 病態、治療	硬質・糖質コルチコイドが作用する器官機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E11200	E2 薬理・病態・薬物 治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	①眼疾患の薬、 病態、治療	1. 緑内障について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E11300	E2 薬理・病態・薬物 治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	①眼疾患の薬、 病態、治療	2. 白内障について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○	○	薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E11400	E2 薬理・病態・薬物 治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	①眼疾患の薬、 病態、治療	3. 加齢性黄斑変性について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E11600	E2 薬理・病態・薬物 治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	②耳鼻咽喉疾患の薬、 病態、治療	1. めまい（動揺病、Meniere（メニエール）病等）について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。	○		薬理学Ⅰ	2年	秋学期
E11800	E2 薬理・病態・薬物 治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	③皮膚疾患の薬、 病態、治療	1. アトピー性皮膚炎について、治療薬の薬理（薬理作用、機序、主な副作用）、および病態（病態生理、症状等）・薬物治療（医薬品の選択等）を説明できる。 （E2（2）【②免疫・炎症・アレルギーの薬、病態、治療】参照）	○		薬理学Ⅰ	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			薬理学Ⅰ	2年	秋学期
C13000	C3 化学物質の性質と 反応	(2) 有機化合物の基本骨格の構造と反応	③芳香族化合物	4. 代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C13100	C3 化学物質の性質と 反応	(2) 有機化合物の基本骨格の構造と反応	③芳香族化合物	5. 代表的な芳香族複素環の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14000	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体	2. カルボン酸の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。	○		有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14100	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体	3. カルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド）の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14101	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体	代表的な炭素-炭素結合生成反応と生体内反応との関係を概説できる（知識）			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14200	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	⑤アミン	1. アミン類の基本的性質と反応を列挙し、説明できる。	○		有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14201	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	⑤アミン	代表的な複素環骨格と名称を列挙できる。（知識）			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14401	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	⑦酸性度・塩基性	医薬品の構造に含まれる官能基の酸・塩基性度の強弱を説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C14500	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 官能基の性質と反応	⑦酸性度・塩基性	2. 含窒素化合物の塩基性度を比較して説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C17901	C4 生体分子・医薬品の化学による理解	(3) 医薬品の化学構造と性質、作用	②医薬品の化学構造に基づく性質	医薬品の構造から、水溶性を予測できる。	○	○	有機化学Ⅱ	2年	秋学期
C17902	C3 化学物質の性質と 反応	(3) 医薬品の化学構造と性質、作用	②医薬品の化学構造に基づく性質	医薬品の構造から、医薬品の作用の強さや持続時間の違いを予測できる。	○	○	有機化学Ⅱ	2年	秋学期
H03800	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	①読む	1. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語を列挙し、その内容を説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
H04100	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	2. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
H04200	薬学準備教育ガイド ライン（例示）	(3) 薬学の基礎としての英語	②書く	3. 科学、医療に関連する英語の代表的な用語、英語表現を列記できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
J05700	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C3 化学物質の性質と 反応	⑥アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体〔関連コアカリ：（3）〕	1. ニトリル類の基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
J07400	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C3 化学物質の性質と 反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：（5）①〕	8. カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
J07500	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C3 化学物質の性質と 反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：（5）①〕	9. カルボン酸誘導体（エステル、アミド、ニトリル、酸ハロゲン化物、酸無水物）の代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
J07600	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C3 化学物質の性質と 反応	⑪官能基の導入・変換〔関連コアカリ：（5）①〕	10. アミンの代表的な合成法について説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期
J08100	薬学アドバンスト教育ガイドライン（例示）	C3 化学物質の性質と 反応	⑫炭素骨格構築反応	3. 代表的な炭素-炭素結合生成反応（アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル合成、Michael 付加、Mannich 反応、Grignard 反応、Wittig 反応など）について説明できる。			有機化学Ⅱ	2年	秋学期